

## ■著者紹介

大森 真紀 (おおもり・まき)

1951年生まれ。

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学。経済学博士。

佐賀大学（経済学部）、立教大学（経済学部）、早稲田大学（社会科学部）勤務を経て、現在、早稲田大学名誉教授、NPO 法人日本 ILO 協議会理事長。

### 主な著作

『現代日本の女性労働—M字型就労を考える』（1990年、日本評論社）

『イギリス女性工場監督職の史的研究—性差と階級』（2001年、慶應義塾大学出版会）

『社会政策を学ぶ人のために』（共編著、1997年初版、2007年三訂版、世界思想社）

『社会政策のなかのジェンダー』（共編著、2010年、明石書店）

『世紀転換期の女性労働 1990年代～2000年代』（2014年、法律文化社）

E. ロバーツ『女は「何処で」働いてきたか』（共訳、1990年、法律文化社）

『戦後女性雇用資料集成』（監修・解説、2008～09年、日本図書センター）

『現代女性労働調査資料集成 1989～2009』（監修・解説、2012～13年、日本図書センター）

『産業別労働組合 女性調査資料集成』（編集・解説、2014～15年、日本図書センター）